

地域資源を次世代に

～しらかわの宝ものをしごとに変える～

1. 地域課題

白川町には、地域の風土の中で受け継がれてきた農産物や郷土食、暮らしの知恵があります。

しかし、人口減少や高齢化、生産者不足、食の均質化などにより、地域固有の食文化や在来種は失われつつあります。

本プロジェクトは、在来種や郷土食を単なる「保存」の対象としてではなく、未来へ継承すべき地域資源として再評価し、生産者・料理人・企業・行政が連携しながら、新たな価値として社会へ発信する取組です。白川町を舞台に、日本各地の地域文化や食文化の担い手をつなぎ、100年先につながる「食のインフラ」の構築を目指します。

2. 施策の内容(課題解決につながる施策)

タイトル	地域資源の付加価値化プロジェクト「種を蒔くクロニクル」	
概要	1 地域食文化のアーカイブ化 在来種や郷土料理、生産者の営みなどを記録し、次世代へ継承するためのアーカイブを構築します。 2 交流・発信イベントの実施 料理人や研究者、生産者など多様な主体が集う対話や交流の場を創出し、地域の魅力を全国へ発信します。 3 地域内循環モデルの構築 地域で生産し、地域で消費する循環型の仕組みづくりを推進し、持続可能な地域経済を目指します。 4 全国ネットワークとの連携 全国の生産者や食文化の担い手と連携し、地域の取組を広域的なムーブメントへ発展させます。	

3. 寄附金の使い道

項目	活用内容	想定金額
食文化継承・地域循環創出事業	・食文化・在来種等の調査研究 ・記録映像・出版物等の制作 ・交流イベント・講演会の開催 ・地域内循環モデルの実証 ・全国ネットワークとの連携事業	1億5千万円/2か年

4. お問い合わせ先

白川町役場 振興課 魅力発信係

電話0574-70-1316

メールmiryoku@town.shirakawa.lg.jp

【企業版ふるさと納税】